

令和8年度 福島県における脱炭素×復興まちづくり実現
プロジェクト認証制度 審査基準及び採点表

審査委員_____

応募事業者_____

1_採点の目安

2 点	1 点	0 点
特筆すべき	十分	不十分

2_審査基準及び採点表（※の付いた項目は重点評価項目とし、配点を2倍として評価します。）

No	審査基準	確認事項	採点
1	目的※	- 解決すべき地域課題が明確かつ具体的に記述されているか。 - 目的が脱炭素と復興まちづくりの両方に資するものであるか。	
2	具体性※	- 提供するサービスの内容が具体的に示されているか。 - 実施内容が具体的なタスクレベルまで分解して記述されているか。	
3	実現性	課題へのアプローチとして、技術的・運用的に実現可能な計画となっているか。	
4	実施体制の妥当性	- 事業を遂行する上で、適切な役割分担と人員配置がなされているか。 - 共同事業者がいる場合、各社の役割分担が明確で、連携による相乗効果が期待できるか。 - PF 内外の企業・団体・自治体との協力体制が具体的に示され、事業推進に有効に機能すると考えられるか。	
5	計画の妥当性	- 各タスクの実施内容が具体的に記述されているか。 - スケジュールは、各タスクの所要期間や依存関係を考慮した現実的なものになっているか。 - KPI の設定や効果測定の方法が具体的に計画されているか。	
6	事業性※	- 事業の独自性が明確に示されているか。 - 収益モデルが明確に示され複数の収益源が検討されているか。 - コスト構造が考慮され、現実的な見積もりがなされているか。 - 次年度以降の社会実装に向けた展望が示されているか。	
7	CO2 削減効果の妥当性	適切な手法により算出された CO2 削減効果を、明確に示しているか。	
8	復興への貢献性※	- 地域課題の解決に資する事業であり、その解決策に現実性があるか。 - 地域の産業構造や雇用に持続的な好影響を与える計画となっているか。	
9	地域資源の有効活用性※	地域の企業・人材、施設、自然環境等を有効活用する計画となっているか。	
10	総合評価	審査委員の総合的な評価や加点を記述する欄	
合計			